

令和 5 年度 病院事業決算状況

都道府県名 沖縄県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	北部病院	2
-	中部病院	3
-	南部医療センター・こども医療センター	4
-	宮古病院	5
-	八重山病院	6
-	精和病院	7
沖縄県離島医療組合	久米島病院	8
沖縄県北部医療組合	公立沖縄北部医療センター	9

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				沖縄県	
市町村・組合名					
北部病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	18,273 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨感へ災地		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	325	70.6	65.5	64.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	327	70.1	65.1	63.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	12.7	12.3

設立団体の状況		
人口(人)	1,467,480	
決算規模(千円)	846,256,545	
標準財政規模(千円)	407,514,427	
財政力指数	0.35934	
経常収支比率(%)	96.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	24.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,500,640			
1 経常収益	7,357,711			
(1) 医業収益	6,091,536			
(うち修正医業収益)	5,950,808			
入院収益	4,436,271			
外来収益	1,411,442			
診療収入計	5,847,713			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	243,823			
(うち他会計負担金)	140,728			
(2) 医業外収益	1,266,175			
(うち国・都道府県補助金)	500,218			
(うち他会計補助・負担金)	469,552			
(うち長期前受金戻入)	261,086			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,142,929			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,927,445			
2 経常費用	7,854,561			
(1) 医業費用	7,599,376			
職員給与費	4,811,296	79.0	58.7	59.2
材料費	1,117,122	18.3	26.9	26.1
(うち薬品費)	454,425	7.5	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	651,266	10.7	11.7	11.1
減価償却費	336,551	5.5	8.5	8.5
経費	1,257,749	20.6	21.5	21.3
(うち委託料)	742,103	12.2	11.5	11.7
研究研修費	23,254			
資産減耗費	53,404			
(2) 医業外費用	255,185			
(うち支払利息)	2,839	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	72,884			
経常損益	-496,850			
純損益	573,195			
累積欠損金	-			
経常収支比率	93.7		96.5	95.9
医業収支比率	80.2		86.0	86.4
修正医業収支比率	78.3		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	8.3		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	10.0		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	7.2		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	85.9		85.4	86.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	72,626,316
1 固定資産	43,946,556
(1) 有形固定資産	42,496,614
(2) 無形固定資産	23,622
(3) 投資その他の資産	1,426,320
2 流動資産	28,679,760
(1) 現金及び預金	15,210,567
(2) 未収金及び未収収益	13,255,274
(3) 貸倒引当金()	880,502
(4) 貯蔵品	1,071,263
3 繰延資産	-
負債合計	66,892,801
1 固定負債	40,017,035
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	28,620,215
(2) その他の企業債	716,360
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	2,000,000
(5) 引当金	8,675,508
(6) リース債務	4,952
2 流動負債	13,456,459
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,139,294
(2) その他の企業債	106,590
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,780,114
(6) リース債務	26,779
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	7,341,011
(9) 前受金及び前受収益	1,909
3 繰延収益	13,419,307
(1) 長期前受金	51,916,933
(2) 長期前受金収益化累計額()	38,497,626
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,733,515
1 本金	1,878,585
2 剰余金	3,854,930
(1) 資本剰余金	6,460,924
(2) 利益剰余金	-2,605,994
負債・資本合計	72,626,316
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	610,280	610,280
資本勘定繰入	118,614	118,614
計	728,894	728,894

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				沖縄県	
市町村・組合名					
病院名 中部病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	36,583 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	41	指定病院の状況	救急が感へ災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	555	78.2	76.6	76.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	559	77.6	76.1	75.6
平均在院日数(一般病床のみ)		12.2	12.3	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	1,467,480	
決算規模(千円)	846,256,545	
標準財政規模(千円)	407,514,427	
財政力指数	0.35934	
経常収支比率(%)	96.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	24.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	20,178,623			
1 経常収益	19,352,225			
(1) 医業収益	16,339,237			
(うち修正医業収益)	16,095,685			
入院収益	11,774,581			
外来収益	4,141,710			
診療収入計	15,916,291			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	422,946			
(うち他会計負担金)	243,552			
(2) 医業外収益	3,012,988			
(うち国・都道府県補助金)	1,102,883			
(うち他会計補助・負担金)	1,109,354			
(うち長期前受金戻入)	567,560			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	826,398			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,814,368			
2 経常費用	20,640,897			
(1) 医業費用	19,768,285			
職員給与費	11,090,980	67.9	58.7	51.4
材料費	4,489,986	27.5	26.9	32.6
(うち薬品費)	2,310,243	14.1	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,061,421	12.6	11.7	13.9
減価償却費	635,799	3.9	8.5	7.4
経費	3,363,512	20.6	21.5	16.9
(うち委託料)	1,867,961	11.4	11.5	10.0
研究研修費	78,098			
資産減耗費	109,910			
(2) 医業外費用	872,612			
(うち支払利息)	62,697	0.4	0.9	0.8
(3) 特別損失	173,471			
経常損益	-1,288,672			
純損益	-635,745			
累積欠損金	-			
経常収支比率	93.8		96.5	97.6
医業収支比率	82.7		86.0	91.7
修正医業収支比率	81.4		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	7.0		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	8.3		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	6.7		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	87.2		85.4	90.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	72,626,316
1 固定資産	43,946,556
(1) 有形固定資産	42,496,614
(2) 無形固定資産	23,622
(3) 投資その他の資産	1,426,320
2 流動資産	28,679,760
(1) 現金及び預金	15,210,567
(2) 未収金及び未収収益	13,255,274
(3) 貸倒引当金()	880,502
(4) 貯蔵品	1,071,263
3 繰延資産	-
負債合計	66,892,801
1 固定負債	40,017,035
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	28,620,215
(2) その他の企業債	716,360
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	2,000,000
(5) 引当金	8,675,508
(6) リース債務	4,952
2 流動負債	13,456,459
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,139,294
(2) その他の企業債	106,590
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,780,114
(6) リース債務	26,779
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	7,341,011
(9) 前受金及び前受収益	1,909
3 繰延収益	13,419,307
(1) 長期前受金	51,916,933
(2) 長期前受金収益化累計額()	38,497,626
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,733,515
1 本金	1,878,585
2 剰余金	3,854,930
(1) 資本剰余金	6,460,924
(2) 利益剰余金	-2,605,994
負債・資本合計	72,626,316
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,352,906	1,352,906
資本勘定繰入	474,311	474,311
計	1,827,217	1,827,217

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				沖縄県	
市町村・組合名					
病院名 南部医療センター・こども医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	42,714 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	51	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	433	84.3	83.7	82.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	5	56.3	61.0	59.6
感染症	6	-	-	-
計	444	82.9	82.3	80.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.6	12.4	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	1,467,480	
決算規模(千円)	846,256,545	
標準財政規模(千円)	407,514,427	
財政力指数	0.35934	
経常収支比率(%)	96.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	24.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,975,157			
1 経常収益	18,966,644			
(1) 医業収益	15,864,952			
(うち修正医業収益)	15,614,650			
入院収益	12,343,419			
外来収益	3,142,058			
診療収入計	15,485,477			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	379,475			
(うち他会計負担金)	250,302			
(2) 医業外収益	3,101,692			
(うち国・都道府県補助金)	757,642			
(うち他会計補助・負担金)	1,244,835			
(うち長期前受金戻入)	915,277			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,513			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	21,837,637			
2 経常費用	20,209,724			
(1) 医業費用	19,257,404			
職員給与費	11,057,288	69.7	58.7	55.7
材料費	4,139,055	26.1	26.9	28.9
(うち薬品費)	1,646,562	10.4	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,491,064	15.7	11.7	12.7
減価償却費	1,034,601	6.5	8.5	7.9
経費	2,931,475	18.5	21.5	18.1
(うち委託料)	1,457,385	9.2	11.5	10.0
研究研修費	67,297			
資産減耗費	27,688			
(2) 医業外費用	952,320			
(うち支払利息)	159,400	1.0	0.9	0.9
(3) 特別損失	1,627,913			
経常損益	-1,243,080			
純損益	-2,862,480			
累積欠損金	-			
経常収支比率	93.8		96.5	97.5
医業収支比率	82.4		86.0	90.0
修正医業収支比率	81.1		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	7.9		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	9.4		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	7.9		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	86.5		85.4	88.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	72,626,316
1 固定資産	43,946,556
(1) 有形固定資産	42,496,614
(2) 無形固定資産	23,622
(3) 投資その他の資産	1,426,320
2 流動資産	28,679,760
(1) 現金及び預金	15,210,567
(2) 未収金及び未収収益	13,255,274
(3) 貸倒引当金()	880,502
(4) 貯蔵品	1,071,263
3 繰延資産	-
負債合計	66,892,801
1 固定負債	40,017,035
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	28,620,215
(2) その他の企業債	716,360
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	2,000,000
(5) 引当金	8,675,508
(6) リース債務	4,952
2 流動負債	13,456,459
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,139,294
(2) その他の企業債	106,590
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,780,114
(6) リース債務	26,779
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	7,341,011
(9) 前受金及び前受収益	1,909
3 繰延収益	13,419,307
(1) 長期前受金	51,916,933
(2) 長期前受金収益化累計額()	38,497,626
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,733,515
1 本金	1,878,585
2 剰余金	3,854,930
(1) 資本剰余金	6,460,924
(2) 利益剰余金	-2,605,994
負債・資本合計	72,626,316
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,495,137	1,495,137
資本勘定繰入	924,639	924,639
計	2,419,776	2,419,776

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名 沖縄県	
市町村・組合名					
病院名	宮古病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	20,410 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨感へ災地		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	226	79.3	66.9	61.2
療養	-	-	-	-
結核	3	5.2	4.7	-
精神	45	76.6	82.9	79.0
感染症	3	4.6	191.1	-
計	277	77.2	70.2	62.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	12.0	10.5

設立団体の状況		
人口(人)	1,467,480	
決算規模(千円)	846,256,545	
標準財政規模(千円)	407,514,427	
財政力指数	0.35934	
経常収支比率(%)	96.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	24.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,416,847			
1 経常収益	7,394,568			
(1) 医業収益	5,797,384			
(うち修正医業収益)	5,656,656			
入院収益	3,917,796			
外来収益	1,657,910			
診療収入計	5,575,706			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	221,678			
(うち他会計負担金)	140,728			
(2) 医業外収益	1,597,184			
(うち国・都道府県補助金)	439,826			
(うち他会計補助・負担金)	673,095			
(うち長期前受金戻入)	436,259			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	22,279			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,621,561			
2 経常費用	8,426,848			
(1) 医業費用	8,041,920			
職員給与費	4,374,440	75.5	58.7	63.9
材料費	1,393,121	24.0	26.9	21.1
(うち薬品費)	700,622	12.1	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	691,510	11.9	11.7	10.2
減価償却費	585,601	10.1	8.5	9.3
経費	1,652,792	28.5	21.5	28.2
(うち委託料)	1,059,188	18.3	11.5	14.0
研究研修費	30,956			
資産減耗費	5,010			
(2) 医業外費用	384,928			
(うち支払利息)	52,792	0.9	0.9	1.0
(3) 特別損失	1,194,713			
経常損益	-1,032,280			
純損益	-2,204,714			
累積欠損金	8,484,112			
経常収支比率	87.8		96.5	93.2
医業収支比率	72.1		86.0	81.2
修正医業収支比率	70.3		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	11.0		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	14.0		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	11.0		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	78.1		85.4	80.9

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	72,626,316
1 固定資産	43,946,556
(1) 有形固定資産	42,496,614
(2) 無形固定資産	23,622
(3) 投資その他の資産	1,426,320
2 流動資産	28,679,760
(1) 現金及び預金	15,210,567
(2) 未収金及び未収収益	13,255,274
(3) 貸倒引当金()	880,502
(4) 貯蔵品	1,071,263
3 繰延資産	-
負債合計	66,892,801
1 固定負債	40,017,035
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	28,620,215
(2) その他の企業債	716,360
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	2,000,000
(5) 引当金	8,675,508
(6) リース債務	4,952
2 流動負債	13,456,459
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,139,294
(2) その他の企業債	106,590
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,780,114
(6) リース債務	26,779
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	7,341,011
(9) 前受金及び前受収益	1,909
3 繰延収益	13,419,307
(1) 長期前受金	51,916,933
(2) 長期前受金収益化累計額()	38,497,626
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,733,515
1 本金	1,878,585
2 剰余金	3,854,930
(1) 資本剰余金	6,460,924
(2) 利益剰余金	-2,605,994
負債・資本合計	72,626,316
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	813,823	813,823
資本勘定繰入	283,989	283,989
計	1,097,812	1,097,812

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				沖縄県	
市町村・組合名					
病院名 八重山病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,480 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨感へ災		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	255	65.5	64.7	59.1
療養	-	-	-	-
結核	6	1.5	-	-
精神	38	41.3	38.0	44.7
感染症	3	-	-	-
計	302	60.5	59.5	55.5
平均在院日数(一般病床のみ)		11.4	12.2	10.5

設立団体の状況		
人口(人)	1,467,480	
決算規模(千円)	846,256,545	
標準財政規模(千円)	407,514,427	
財政力指数	0.35934	
経常収支比率(%)	96.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	24.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,238,656			
1 経常収益	7,061,219			
(1) 医業収益	5,244,547			
(うち修正医業収益)	5,103,819			
入院収益	3,220,873			
外来収益	1,721,520			
診療収入計	4,942,393			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	302,154			
(うち他会計負担金)	140,728			
(2) 医業外収益	1,816,672			
(うち国・都道府県補助金)	500,527			
(うち他会計補助・負担金)	687,065			
(うち長期前受金戻入)	571,430			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	177,437			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,530,911			
2 経常費用	8,191,325			
(1) 医業費用	7,809,081			
職員給与費	4,300,917	82.0	58.7	59.2
材料費	1,093,334	20.8	26.9	26.1
(うち薬品費)	481,513	9.2	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	611,567	11.7	11.7	11.1
減価償却費	895,559	17.1	8.5	8.5
経費	1,479,429	28.2	21.5	21.3
(うち委託料)	918,391	17.5	11.5	11.7
研究研修費	33,673			
資産減耗費	6,169			
(2) 医業外費用	382,244			
(うち支払利息)	66,820	1.3	0.9	1.0
(3) 特別損失	339,586			
経常損益	-1,130,106			
純損益	-1,292,255			
累積欠損金	3,837,703			
経常収支比率	86.2		96.5	95.9
医業収支比率	67.2		86.0	86.4
修正医業収支比率	65.4		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	11.7		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	15.8		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	11.4		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	76.1		85.4	86.4

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	72,626,316
1 固定資産	43,946,556
(1) 有形固定資産	42,496,614
(2) 無形固定資産	23,622
(3) 投資その他の資産	1,426,320
2 流動資産	28,679,760
(1) 現金及び預金	15,210,567
(2) 未収金及び未収収益	13,255,274
(3) 貸倒引当金()	880,502
(4) 貯蔵品	1,071,263
3 繰延資産	-
負債合計	66,892,801
1 固定負債	40,017,035
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	28,620,215
(2) その他の企業債	716,360
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	2,000,000
(5) 引当金	8,675,508
(6) リース債務	4,952
2 流動負債	13,456,459
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,139,294
(2) その他の企業債	106,590
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,780,114
(6) リース債務	26,779
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	7,341,011
(9) 前受金及び前受収益	1,909
3 繰延収益	13,419,307
(1) 長期前受金	51,916,933
(2) 長期前受金収益化累計額()	38,497,626
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,733,515
1 本金	1,878,585
2 剰余金	3,854,930
(1) 資本剰余金	6,460,924
(2) 利益剰余金	-2,605,994
負債・資本合計	72,626,316
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	826,084	827,793
資本勘定繰入	379,707	379,707
計	1,205,791	1,207,500

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				沖縄県	
市町村・組合名					
病院名 精和病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,269 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	5	指定病院の状況	臨感		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	4	-	-	-
精神	246	50.7	47.4	46.7
感染症	-	-	-	-
計	250	49.9	46.7	46.0
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,467,480	
決算規模(千円)	846,256,545	
標準財政規模(千円)	407,514,427	
財政力指数	0.35934	
経常収支比率(%)	96.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	24.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,479,669			
1 経常収益	2,146,608			
(1) 医業収益	1,226,265			
(うち修正医業収益)	1,226,265			
入院収益	834,333			
外来収益	372,446			
診療収入計	1,206,779			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	19,486			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	920,343			
(うち国・都道府県補助金)	190,174			
(うち他会計補助・負担金)	651,418			
(うち長期前受金戻入)	60,587			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	333,061			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,560,058			
2 経常費用	2,546,775			
(1) 医業費用	2,480,823			
職員給与費	1,789,117	145.9	58.7	104.5
材料費	236,848	19.3	26.9	9.7
(うち薬品費)	174,171	14.2	14.8	6.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	12,553	1.0	11.7	1.6
減価償却費	98,269	8.0	8.5	12.8
経費	349,640	28.5	21.5	34.3
(うち委託料)	177,179	14.4	11.5	15.4
研究研修費	6,282			
資産減耗費	667			
(2) 医業外費用	65,952			
(うち支払利息)	2,393	0.2	0.9	2.2
(3) 特別損失	13,283			
経常損益	-400,167			
純損益	-80,389			
累積欠損金	1,527,184			
経常収支比率	84.3		96.5	98.6
医業収支比率	49.4		86.0	61.2
修正医業収支比率	49.4		83.2	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	30.3		11.5	34.5
他会計繰入金対医業収益比率	53.1		13.7	57.7
他会計繰入金対総収益比率	26.3		11.5	33.3
実質収益対経常費用比率	58.7		85.4	64.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	72,626,316
1 固定資産	43,946,556
(1) 有形固定資産	42,496,614
(2) 無形固定資産	23,622
(3) 投資その他の資産	1,426,320
2 流動資産	28,679,760
(1) 現金及び預金	15,210,567
(2) 未収金及び未収収益	13,255,274
(3) 貸倒引当金()	880,502
(4) 貯蔵品	1,071,263
3 繰延資産	-
負債合計	66,892,801
1 固定負債	40,017,035
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	28,620,215
(2) その他の企業債	716,360
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	2,000,000
(5) 引当金	8,675,508
(6) リース債務	4,952
2 流動負債	13,456,459
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,139,294
(2) その他の企業債	106,590
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,780,114
(6) リース債務	26,779
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	7,341,011
(9) 前受金及び前受収益	1,909
3 繰延収益	13,419,307
(1) 長期前受金	51,916,933
(2) 長期前受金収益化累計額()	38,497,626
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,733,515
1 本金	1,878,585
2 剰余金	3,854,930
(1) 資本剰余金	6,460,924
(2) 利益剰余金	-2,605,994
負債・資本合計	72,626,316
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	651,418	651,418
資本勘定繰入	57,590	57,590
計	709,008	709,008

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				沖縄県	
市町村・組合名		沖縄県離島医療組合			
病院名		久米島病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,481 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	40	58.9	47.4	47.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	58.9	47.4	47.7
平均在院日数(一般病床のみ)		9.3	9.4	9.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	361,111			
1 経常収益	337,664			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	337,664			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	254,888			
(うち長期前受金戻入)	82,776			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	23,447			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	337,209			
2 経常費用	337,209			
(1) 医業費用	325,937			
職員給与費	20,353	-	58.7	89.5
材料費	-	-	26.9	13.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	5.5
減価償却費	83,103	-	8.5	14.0
経費	222,001	-	21.5	46.3
(うち委託料)	9,363	-	11.5	22.2
研究研修費	-			
資産減耗費	480			
(2) 医業外費用	11,272			
(うち支払利息)	9,684	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	455			
純損益	23,902			
累積欠損金	473,716			
経常収支比率	100.1		96.5	97.3
医業収支比率	-		86.0	60.9
修正医業収支比率	-		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	75.5		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	70.6		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	24.5		85.4	63.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,296,176
1 固定資産	1,198,894
(1) 有形固定資産	1,198,115
(2) 無形固定資産	779
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	97,282
(1) 現金及び預金	96,782
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,561,880
1 固定負債	488,148
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	482,917
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	5,231
(6) リース債務	-
2 流動負債	130,863
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	129,672
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	942,869
(1) 長期前受金	1,049,096
(2) 長期前受金収益化累計額()	106,227
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-265,704
1 本金	14,139
2 剰余金	-279,843
(1) 資本剰余金	193,873
(2) 利益剰余金	-473,716
負債・資本合計	1,296,176
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	265,704
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	251,613	254,888
資本勘定繰入	94,314	164,929
計	345,927	419,817

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		沖縄県	
市町村・組合名	沖縄県北部医療組合		
病院名	公立沖縄北部医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	否
DPC対象病院	-	経営形態	-
		類似区分	建設中

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	105,973			
1 経常収益	105,973			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	105,973			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	105,972			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	84,979			
2 経常費用	84,979			
(1) 医業費用	83,921			
職員給与費	72,596	-	58.7	-
材料費	-	-	26.9	-
(うち薬品費)	-	-	14.8	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	-
減価償却費	-	-	8.5	-
経費	11,325	-	21.5	-
(うち委託料)	1,679	-	11.5	-
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,058			
(うち支払利息)	-	-	0.9	-
(3) 特別損失	-			
経常損益	20,994			
純損益	20,994			
累積欠損金	-			
経常収支比率	124.7		96.5	119.5
医業収支比率	-		86.0	-
修正医業収支比率	-		83.2	-
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.5	99.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	-
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.5	98.8
実質収益対経常費用比率	-		85.4	0.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	501,174
1 固定資産	184,852
(1) 有形固定資産	184,852
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	316,322
(1) 現金及び預金	119,766
(2) 未収金及び未収収益	177,746
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	480,180
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	276,519
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	276,469
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	203,661
(1) 長期前受金	203,661
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	20,994
1 資本金	-
2 剰余金	20,994
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	20,994
負債・資本合計	501,174
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	105,972
資本勘定繰入	-	346
計	-	106,318

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。